

## (1-2) 桂川右岸流域下水道(汚水)

桂川右岸流域下水道は、市街地の連担した桂川右岸流域の3市1町の区域を対象とした京都府における最初の流域下水道であり、昭和47年度に事業着手し、昭和54年10月に供用開始した。

この地域は、JR東海道本線、阪急京都線及び国道171号等主要な路線が地域内を南北に縦断しているため、高度経済成長期から急激に都市化が進行し、旧住宅地及び新住宅地並びに企業敷地等が混在しているとともに、下流域には阪神地域の都市群が存在していることから、公共用水域の良好な水質を保全するため、下水道整備を進めている。

処理場内の水処理施設の一部空間を府立洛西浄化センター公園として利用し、処理水を勝竜寺城公園(長岡京市)で再利用し、下水熱を管理棟空調の熱源として利用するなど、施設や資源を有効利用している。

(平成26年4月1日現在)

		全体計画概要	事業実績
関係市町		京都市(南区、西京区、伏見区)、向日市、長岡京市、大山崎町	
処理面積		5,156 ha	4,154 ha
処理人口		328,640 人	352,807 人
排除方式		分流式	
処理能力水量		211,000m <sup>3</sup> /日	211,000m <sup>3</sup> /日
標準法		—	—
窒素・リン対応		211,000m <sup>3</sup> /日	211,000m <sup>3</sup> /日
放流先		桂川	
管路施設	東幹線	9.8km	昭和58年1月供用
	西幹線	6.0km	昭和54年8月供用
	南幹線	1.0km	昭和54年7月供用
	計	16.8km	全線供用
終末処理場施設	名称	らくさい 洛西浄化センター	
	所在地	京都市伏見区淀大下津町他、長岡京市勝竜寺樋ノ口他、乙訓郡大山崎町字下植野他	
	面積	17.3ha	
	処理方法	凝集剤併用型循環式硝化脱窒法+急速ろ過 凝集剤併用型ステップ <sup>®</sup> 流入式多段硝化脱窒法+急速ろ過	
法 手 続	都市計画 決定	当初 昭和48年3月19日	最終変更 平成14年8月13日
	都市計画法 事業認可	当初 昭和48年3月20日	最終変更 平成23年12月1日
	下水道法 事業計画策定	当初 昭和48年3月25日	最終変更 平成25年4月18日
供用開始		昭和54年10月18日	